



東京都における 後発医薬品安心使用促進の取組について

東京都福祉保健局保健政策部国民健康保険課

1. 東京都の後発医薬品（ジェネリック医薬品）使用状況について

東京都のジェネリック医薬品の使用割合は、令和元年9月時点で74.9%と全国平均の78.7%を下回り、全国では46位となっています。

政府は、令和2年9月までにジェネリック医薬品の使用割合80%到達を目標に掲げて取り組んでいますが、「診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」などの各種調査により患者や医療従事者の中には、ジェネリック医薬品に対して漫然とした不安を抱いている方が少なからずおられることが示されています。

このため、都では、令和元年度から、都民や医療機関のジェネリック医薬品に対する不安や疑問を解消し、安心して使用できる環境を整備していくため、有識者、医療関係団体、都民代表等からなる「東京都後発医薬品安心使用促進協議会」を設置し、関係者が連携して、都の実情に応じた効果的な取組を検討しています。

2. 令和元年度の取組について

(1) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート調査

東京都における特性や課題などを明らかにし、ジェネリック医薬品を安心して使用できる環境整備に向けた施策を検討するため、「後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート」を薬局訪問患者、薬局、病院・病院医師・診療所、保険者を対象に実施しました。

東京都のホームページに概要と報告書を掲載しましたので、ご一読いただければ幸いです。

(URL)

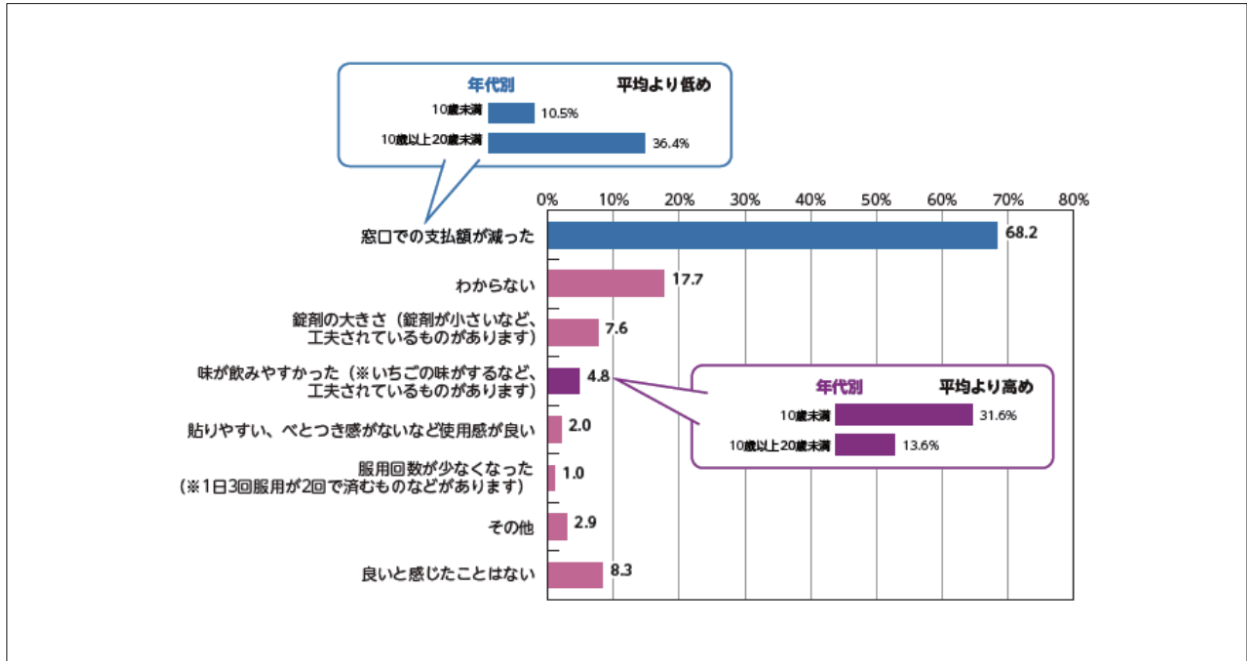
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kokuho/kohatsuchosa.html>



①患者の調査結果概要 (抜粋) ※服薬者が子供の場合には、回答者は保護者

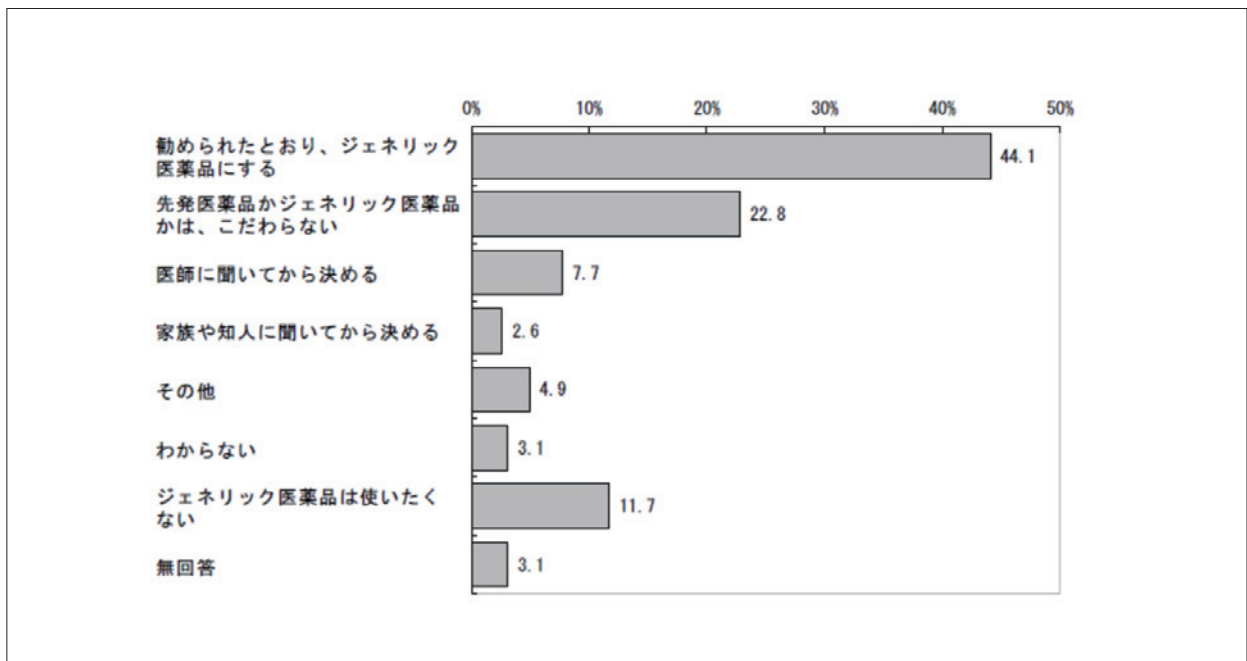
●ジェネリック医薬品を使用して良いと感じたこと (複数回答)

- ・窓口での支払額が減った ……約 68%



●薬局でジェネリック医薬品を勧められた場合の考え

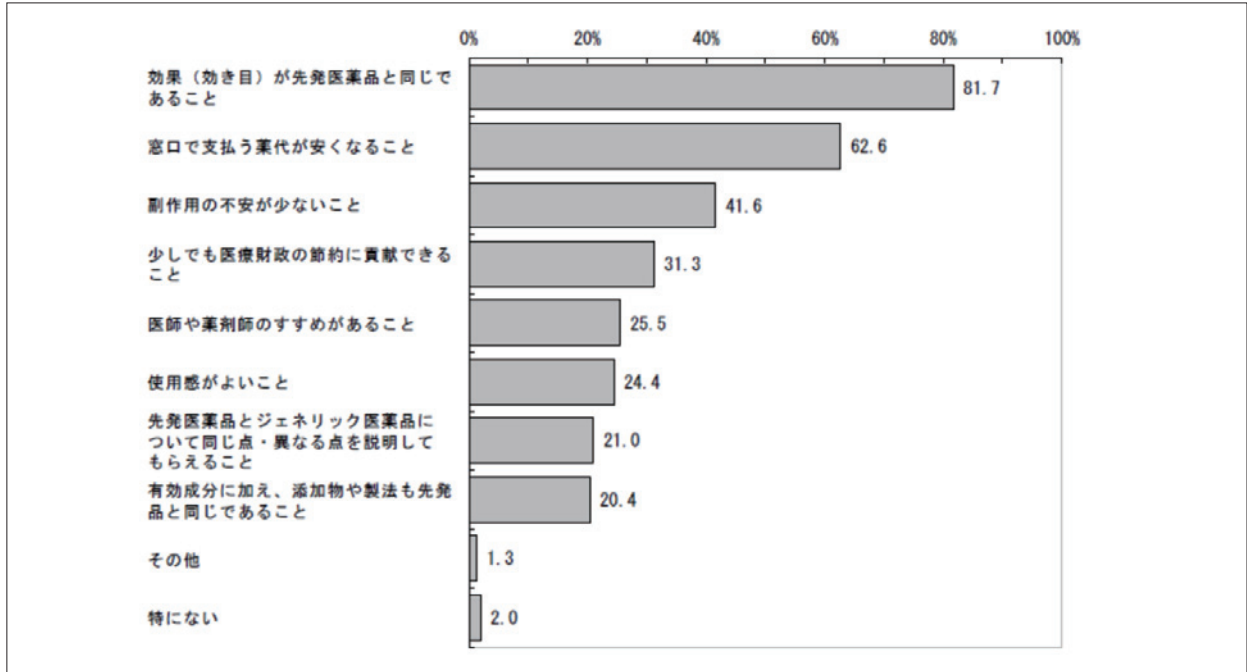
- ・勧められたとおり、ジェネリック医薬品にする ……約 44%
- ・先発医薬品かジェネリック医薬品かは、こだわらない ……約 23%





●ジェネリック医薬品を使用するにあたって重要だと思うこと（複数回答）

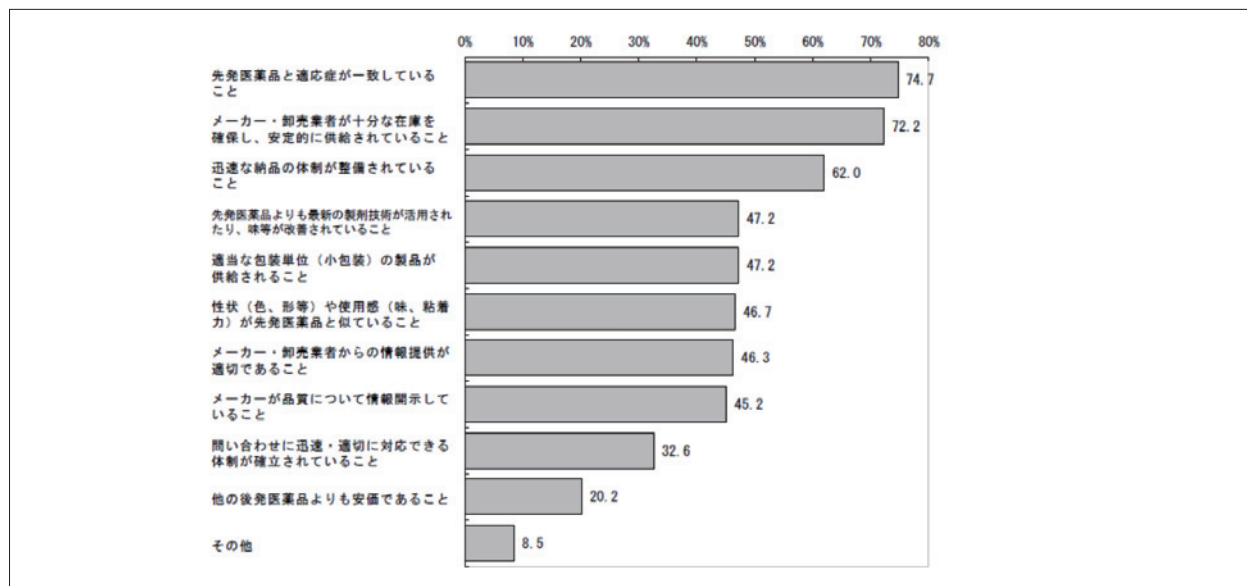
- ・効果（効き目）が先発医薬品と同じであること . . . 約82%



②薬局の調査結果概要（抜粋）

●ジェネリック医薬品を採用するときに重視すること（複数回答）

- ・先発医薬品と適応症が一致していること . . . 約75%
- ・メーカー・卸売業者が十分な在庫を確保し、安定的に供給されていること . . . 約72%
- ・迅速な納品の体制が整備されていること . . . 約62%





③病院・診療所・医師の調査結果概要

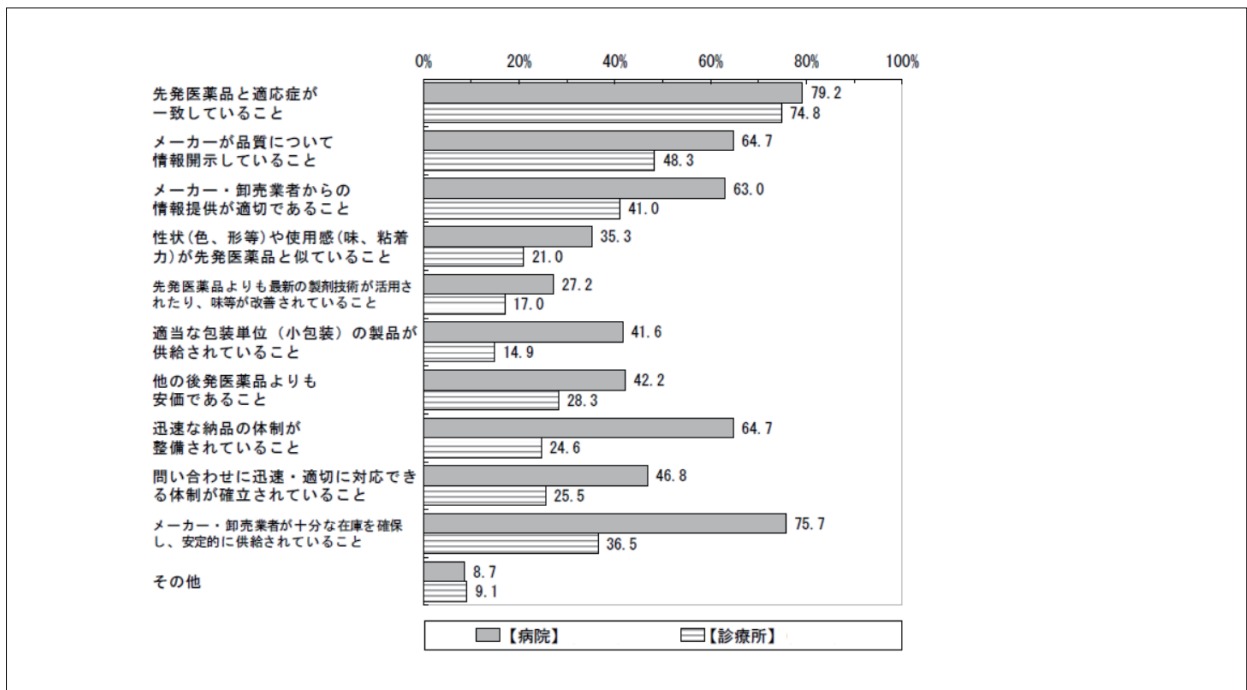
●ジェネリック医薬品を採用する際に重視すること（複数回答）

【病院】

- ・先発医薬品と適応症が一致していること ……約 79%
- ・メーカー・卸売業者が十分な在庫を確保し、安定的に供給されていること ……約 76%
- ・メーカーが品質について情報開示していること _____
- ・迅速な納品の体制が整備されていること _____ } ……約 65%

【診療所】

- ・先発医薬品と適応症が一致していること ……約 75%
- ・メーカーが品質について情報開示していること ……約 48%
- ・メーカー・卸売業者からの情報提供が適切であること ……約 41%



(2) 「医療機関・薬局の皆さまへ 患者が安心してジェネリック医薬品を使用するために」の作成、医療機関・薬局向け配布

東京都の数量シェアは、全国で見ると低いものの、1「後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート結果」では、外来の院外処方では一般名処方を行っている病院医師は約 70%、診療所医師は約 80%となっており、一般名処方が進んできています。

また、患者は、勧められたとおりジェネリック医薬品にする人や、先発医薬品かジェネリック医薬品かこだわっていない人が多い傾向であることもわかりました。

ジェネリック医薬品を安心して使用できる環境整備を図っていくため、医師や薬剤師をはじめ医

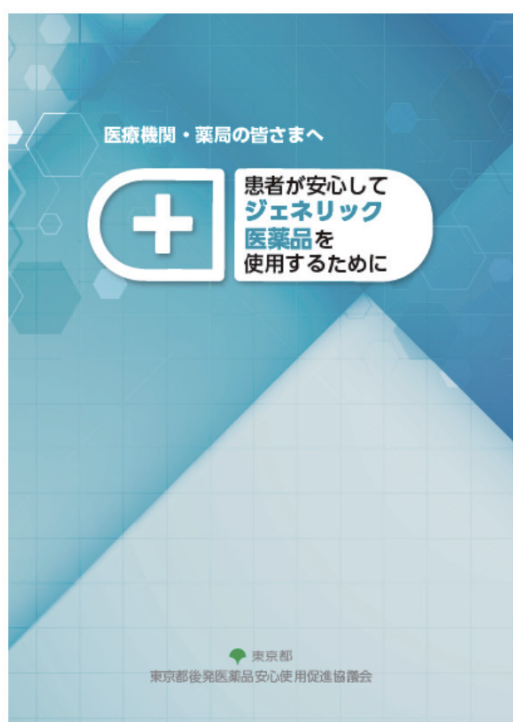
療関係者がジェネリック医薬品に対する理解をさらに進め、連携して患者の声に応えていくことが重要な取組の一つです。

医療関係者が連携して取り組む一助となるよう「医療機関・薬局の皆さまへ 患者が安心してジェネリック医薬品を使用するために」を作成し、医療機関・薬局に配布しました。

東京都のホームページに概要と報告書を掲載しましたので、ご一読いただければ幸いです。

(URL)

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kokuho/kohatuiyakuhin/index.html>



目次

1 ジェネリック医薬品に関する Q & A (共通編)	1
Q 1 ジェネリック医薬品とはどういう医薬品か。.....	1
Q 2 なぜ、国はジェネリック医薬品の使用を進めているのか。.....	2
Q 3 ジェネリック医薬品の中には、承認された効能・効果が先発医薬品と一致しないものがあるがなぜか。.....	2
Q 4 先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替え、効果の違いを感じることはなぜか。.....	2
Q 5 ジェネリック医薬品は、お薬代が安くなる他に患者にとってメリットはあるのか。.....	3
Q 6 ジェネリック医薬品には海外の粗悪な品質の原薬が使用されているのではないか。.....	4
Q 7 ジェネリック医薬品の品質管理はどのように行われているのか。.....	4
Q 8 国は診療報酬、調剤報酬において、使用促進についてどのように評価しているか。.....	5
Q 9 ジェネリック医薬品メーカーは、どのように情報提供に取り組んでいるのか。.....	7
Q 10 国やジェネリック医薬品メーカーは、どのように安定供給に取り組んでいるのか。.....	7
Q 11 ジェネリック医薬品の情報はどこから検索できるのか。.....	8
2 ジェネリック医薬品に関する Q & A (医師編)	10
Q 12 患者は、ジェネリック医薬品を希望しているのかどうかわからない。どのように確認し説明するのが良いか。.....	10
Q 13 「後発医薬品への変更調剤」または「一般名処方調剤」について、薬局で調剤された医薬品名がわからない。薬局で調剤された情報を知るにはどうしたら良いか。.....	12
3 ジェネリック医薬品に関する Q & A (薬剤師編)	13
Q 14 医師からの処方箋は先発医薬品名が記載されているが、変更不可に✓がなければ、ジェネリック医薬品を調剤することは可能か。.....	13
【参考】 医療費削減効果の推計 等	14